

加古川中央市民病院

増築と改築について

KAKOGAWA
CENTRAL CITY
HOSPITAL



心地よい病院空間をめざして

感染症対策病棟の整備

非常用発電・備蓄倉庫を拡充し、災害対策強化

増築棟エリア FLOOR MAP

5F 既存病院棟と連携の取りやすい病棟



感染症対策病棟を設けて既存病院棟と連結し、双方一体の運用を可能に。併せて、非常用発電・備蓄倉庫を拡充し、災害対策を強化。

3F フレキシビリティのある管理部門

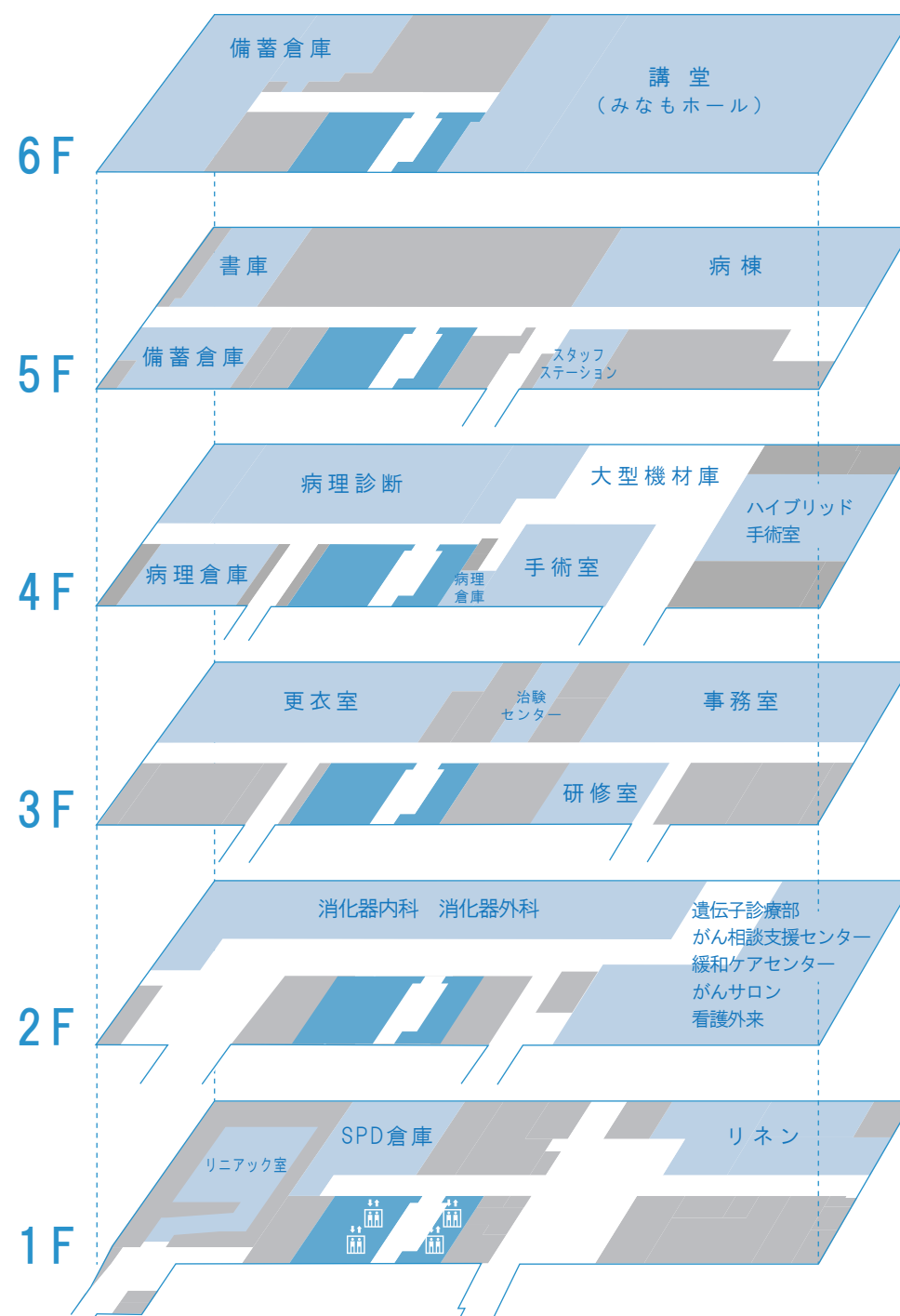


研修室、更衣室、事務室の拡張など職員フロアの働き学べる環境の充実。

1F リニアック室とスタッフ空間の充実



リニアック室を増設して将来の機器増設、更新に備えると共に、スタッフ空間を整備して利便性を向上。



6F 様々な用途に活用できる講堂



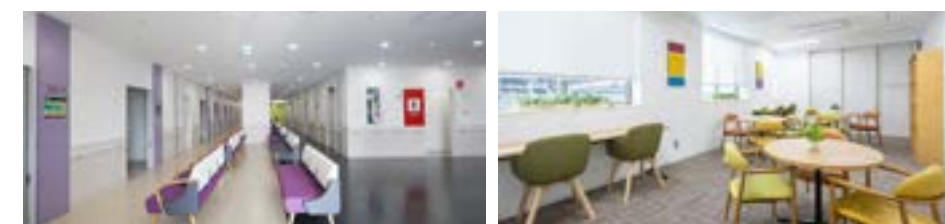
講堂(みなもホール)はAV機能を充実させ、様々な用途に応える空間を整備。

4F 高稼働に対応する手術エリア



ハイブリッド・一般手術室の増設、病理・検査部門の充実など高稼働に対応したエリアとして整備。

2F 外来エリアを拡張し混雑緩和と全体最適を図る



外来診察室、がんサロン等の相談室を拡張し患者さんの医療、職員の働く環境を両面において整備。

地域の基幹病院として、将来起こりえる新興感染症や自然災害への備えを整備しました。また、職員が快適に働き、学べる空間を充実させました。1～5階は既存棟と連絡通路で連結し、機能の一体性を保ちます。ハイブリッド手術室の新設、感染症対策病棟の整備、エレベーター増設による移動時間短縮など環境を整えました。大規模災害時でも病院機能の継続性を確保するために、建物には免震構造を採用し、非常用発電や備蓄倉庫を拡充しています。

構造規模
構造：鉄筋コンクリート造*
建築面積：1,082.18㎡
延床面積：6,459.58㎡ * 免震構造

既存棟改築エリア

5F 緩和ケア病棟(PCU)



5階病棟の一部を緩和ケア病棟として改築。病室8床、全室個室。自宅のように、ご家族とゆっくり過ごせる談話室や中庭を整備。

4F 手術フロア 支援部門



滅菌室

サテライトファーマシー

細菌検査室

オペ件数の増加により滅菌室、サテライトファーマシーを拡張。動線を見直し業務の効率化を図る。感染対策として細菌検査室を拡充。

3F 図書室



医師の増加により医局スペースを拡張。3階職員ラウンジ横の実習生控室を図書室として改築。研究・読書スペースが広がり、快適な環境で自習のできる環境を整備。



地方独立行政法人 加古川市民病院機構
加古川中央市民病院

〒675-8611兵庫県加古川市加古川町本町439番地

TEL:079-451-5500(代)

FAX:079-451-5548

<https://www.kakohp.jp/>